

企画展「中島徳一郎とコケ植物の世界」について

きしわだ自然資料館で、2002年10月22日（火）より11月29日（金）までの予定で、「中島徳一郎とコケ植物の世界」という企画展を行うことになりました。みなさんは、岸和田、貝塚で終生過ごされた中島徳一郎氏（故人）をご存知でしょうか。

氏は長年、岸和田中学校（現・岸和田高校）の教師を務められ、植物学の研究者としても著名でした。氏は植物の中でも、特にコケ植物の蘚類の専門家として知られています。先生が命名者のヤクシマタチゴケ *Atrichum yakushimense* var. *elamellata* をはじめとして、モロハヒラゴケ *Neckera nakajimae* (= *Cyathophorella nakajimae*) やナカジマヒメクサリゴケ *Cololejeunea nakajimae*, ナカジマトサカゴケ *Lephogolea nakajimae* などが、中島先生が由来の蘚類です（北川，1997；瀬戸，1996）。大阪府において、シダ植物以上の高等植物、蘚苔類、海藻を含めた広範な植物の目録としてまとめられたものとしては、『大阪府植物誌』（堀，1962）がほぼ唯一と言ってもよいものですが、この本の蘚類と付属の海藻の章は中島先生による執筆です。現在では、この本は、大阪で植物を勉強する者のバイブルといってもよい本の一つで、中島先生がなされた研究活動の成果の一端がわかるものです。大阪に関する限り、この本がなければ、あるいは中島先生がいなければ、現在の蘚類や海藻類の研究はなかったと言っても言い過ぎではありません。

先生の死後、中島先生の次女である中島道子さんから、先生の研究に関する資料や論文、今では入手不可能な古書の数々、蘚苔類の標本などをきしわだ自然資料館へご寄贈いただきました。これらは、中島先生の遺品であり、本来は肉親が持っているべきものです。しかし、「研究活動をされている人に開放した方がためになる」という中島道子さんのご厚意で、資料館への寄贈が実現したものです。また、岸和田高校に収蔵されていたシダ植物以上の高等植物標本（さく葉標本、推定約1万点）も、現在は資料館に寄贈され、収蔵庫に保管されています。これらは、中島先生を初めとして、歴代の岸和田高校の先生方や生徒たちが集め、大切に保管されてきた標本です。今回の企画展は、これらの資料を中心に、展示を企画したものです。



↑ 阪南理科学研究会にて、海藻を教えている中島徳一郎先生（左）と和歌山県白浜にて 撮影：上久保文貴氏

先生は、生前普及活動にも熱心で、阪南理科研究会や近畿植物同好会などを通して、植物学、生物学を教えてこられました。生前の中島先生から植物を学んだ、教えてもらったという人は、口をそろえて「どんな植物でも知っていた」「おおそ中島先生にわからない植物なんてなかった」と言われます。1950年から故・田川基二先生（京都大学理学部名誉教授）を中心に発足した、しだとこけの談話会は、隠花植物の研究者らの集まりですが、この会にも中島先生は積極的に参加され、熱心にノートをとられて、しばしば講師も務められたそうです。その意味では、中島先生の植物学は、超一流の研究者たちから学んだものと言えます。

私（村上）は、資料館へ初めて仕事でやってきたとき、前任の楠本勝先生（現・山直北小学校教頭）から初めて中島徳一郎という名を知らされました。楠本先生が初出勤の私を連れて館内を案内してくださり、収蔵庫に押し込められていた岸和田高校寄贈の標本（押し葉標本）を見せてくださったのです。これらの標本は、中島先生なしでは語れない標本です。採集者の中には、中島先生以外の先生方や生徒の名前も多数含まれていますが、その標本のほとんどに中島先生が目を通してということがすぐにわかります。同定の間違っているものはきちんと直されていますし、科や種などの分類体系が変わったときには、丁寧に赤字で訂正されています。ほとんどの標本に整理番号が付けられ、分類順に目録も作られています。瀬戸（1996）が中島先生の生前に、岸和田高校の生物準備室を見せてもらった際の感想を、「さながら泉南地方の博物館」と表現していることもよくわかります。これらの標本を見てみると、既に日本で絶滅したと考えられている種が含まれているなど、貴重なものも含まれています。しかし、氏はわからないものや稀少なものについては、その道の専門家に標本を送り、手紙のやりとりをするということを生涯続けてきた先生です。その結果、氏の採集された多くの貴重な標本は、既に大阪市立自然史博物館をはじめとした博物館施設に収蔵されているのです。これらのことから考えると、岸和田高校へ置いてあったものは、自分自身や他の先生、生徒が勉強するために置いておいたものではないかと思われます。これらは資料館にとっても財産と言えるもので、同時に地域の財産でもあります。学校の先生方には、ぜひこの機会に今回の企画展示を見ていただき、地域の自然史にたゆまぬ努力を続けてきた氏の姿と、コケ植物をはじめとする植物への理解を深めていただきたいと思います。岸和田高校寄贈標本等については、ご希望があれば学校の先生方にもご一見していただきたいと思います。ぜひ、ご来館の上、自然資料館の村上までご連絡なくお申しつけください。

これらの標本をじっと見ていると、ときに涙が止まらなくなることがあります。理由はよくわかりませんが、膨大な標本の中の、わずか1つにこめられた一人の研究者としての情熱が感じられるからだだと思います。遺品の中には、専門であった藓類やその他の植物に関しての、細かな採集メモや研究メモが何冊ものノートとして出てきます。今回は、その情熱や真剣さが伝わる展示を目指しています。おおそ植物を研究する人、地域の研究者や教育者にとって、これらの資料を目の前にして、心打たれない者はいないのではないのでしょうか。ぜひ、この機会に資料館へご来館ください。

（自然資料館学芸員 村上健太郎）

企画展中島徳一郎とコケ植物の世界

会期：2002年10月22日（火）～11月29日（金）

場所：きしわだ自然資料館 1 階多目的ホール

入場料：おとな 200 円 小・中学生 100 円（きしわだ自然友の会および団体については、おとな 140 円，小・中学生 70 円）（学習券も使えます）

休館日：月曜日、月末日

史跡めぐり

西福寺（春木本町）

春木の浄土宗寺院西福寺は、正確な創立年代はわかりませんが、少なくとも室町前期（15 世紀前半期）にはその存在が確認できる古刹で、江戸時代には 35カ寺の末寺を擁する泉州の中本山に位置付けられた格式高い寺院です。戦国時代には一時荒廃していたようですが、天文 23（1554）年に燈誉良然という僧が再興したと伝えられています。



燈誉はもと、伊勢国出身で、誕生の寸前に母がなくなり、周囲の人々が鎌で母体を切って赤子を取り上げたといい、そのため「鎌上人」と呼ばれました。少年期から関東・東海地方の寺院で修行を重ね、16 世紀初めに堺の旭蓮社（大阿弥陀経寺）の住職となり、泉州各地に多くの浄土宗寺院を建立・再興しました。また、天文 13 年、知恩院で浄土宗の開祖法然上人の 333 回忌法要が営まれた際に、知恩院の住職として紫衣の着用を許されて導師を勤めました。一方、和歌を好み、三条西実隆や牡丹花肖柏ら当時の一流歌人の指導を受け、さらに自ら詠んだ歌を献上して後柏原天皇の評価を受けています。西福寺には燈誉の和歌 2500 首余を収めた歌集『朽木集』が伝わっています。

郷土資料館の資料から

紫系威伊予札四枚胴具足（むらさきいとおどしいよざねよんまいどうぐそく）

岸和田祭りを始めた藩主として知られる岡部長泰が使用した甲冑です。胴や草摺など主要部分は伊予札（いよざね）とよばれる細長い鉄板を紐で綴じ合わせて構成されています。胴の裏地には当時としては高級品であった舶来の黒羅紗を用い、金具廻りにも銀を多用するなど、大名道具にふさわしいぜいたくな作りとなっています。兜は戦国時代の名工明珍信家の作で、江戸時代に古い兜を仕立て直したものです。岸和田藩主の使用が裏付けられる甲冑は大変珍しく、また保存状態も良好のものです。そうしたことから、平成 12 年 2 月、大阪府の有形文化財に指定されました。

（郷土資料館学芸員 山中吾朗）



○ ● INFORMATION ● ○

郷土資料館の催し案内

秋季特別展 「洋画家 田中忠雄」

元岸和田藩士の家に生まれ、戦後、特に聖書の主題から現代の問題を照射する作品を多く制作した田中忠雄の作品 34 点を展示します。

【会期】 平成 14 年 10 月 5 日〔土〕～ 11 月 24 日〔日〕

【会場】 岸和田城天守閣 1 階展示室

【時間】 午前 10 時～午後 5 時(入場は 4 時まで)

【入場料】 大人 400 円 / 小中学生 200 円
25 名以上団体 3 割引

【休館日】 月曜日(但し 10 / 14・11 / 4 は開館します)

【講演会】

10 月 26 日(土) 午後 1 時～ 於 だんじり会館

田中文雄氏(国際基督教大学名誉教授)

「田中忠雄の芸術と生涯について」

聴講希望者は郷土文化室(0724-23-9689)までお申込みください。無料。

自然資料館のイベント情報

■ 鳴く虫・夜の観察会

里山神於山周辺にいる、鳴く虫のなかまを耳で観察しましょう。おとなの方だけの参加も大歓迎です。

【日時】 10 月 27 日(日) 18:30-20:30(雨天中止)

【集合場所】 神於寺

【観察場所】 神於山とその周辺

【講師】 小田健一氏(大阪府立大学農学部研究生)
ほか当館スタッフ

【定員】 40 名(小学生以下は保護者同伴で)
申込者多数の場合は抽選

【費用】 おひとりさま 100 円(保険代)

【申込】 往復はがきかメールで(携帯不可) 参加

者全員の〒住所・氏名・年齢(学年)・電話番号・友の会会員は会員番号を明記の上、10 月 15 日(必着)で自然資料館「鳴く虫」係まで。

【連絡先・お申込先】 下記

■ 企画展開催記念観察会「コケとシダの観察会」

ふだん、あまり注目されないコケ植物やシダ植物ですが、その生態や姿はたいへんおもしろく、美しいものです。野外で、コケやシダの生態や見分け方を勉強してみましょう。

【日時】 2002 年 11 月 10 日(日) 10:00 頃～

【場所】 未定(牛滝山または河内長野市周辺の予定)

【日時】 講師: 木村全邦氏(日本蘚苔類学会会員) ほか当館スタッフ

【定員】 2 キロ程度の山道を歩ける方 40 名
(小学生以下は保護者同伴)

【費用】 おひとりさま 100 円(保険代)

【申込】 往復はがきかメールで(携帯不可) 参加者全員の〒住所・氏名・年齢(学年)・電話番号・友の会会員は会員番号を明記の上、11 月 1 日(必着)で自然資料館「コケとシダ」係まで。

【連絡先・お申込先】 下記

自然資料館臨時休館のお知らせ

自然資料館は 10 月 22 日からはじまる企画展「中島徳一郎とコケ植物の世界」準備のため、10 月 19 日(土)・20 日(日)臨時休館いたします。どうぞご了承ください。

お願い [from M] は、学校教職員に 1 部ずつお配りください。担当の方はお忙しいところ申し訳ございませんが、よろしくお願い申し上げます。

【from M】では、みなさまのご意見、ご感想、ご質問等をお待ちしております。博物館での学習、研究等に関する情報、地域の自然環境や歴史に関する面白いトピックスなどがありましたら、投稿文の方も受け付けております。お名前、連絡先、所属等をご記入の上、下記のところまでお送りください。電子メールでも受け付けております。なお【from M】はホームページ上でもご覧になることができます。ぜひご利用ください。

連絡・問い合わせ先

〒596-0072 岸和田市堺町 6-5

きしわだ自然資料館

TEL (0724)23-8100 FAX (0724)23-8101

Email: sizen@city.kishiwada.osaka.jp

自然資料館ホームページ URL:

<http://www.city.kishiwada.osaka.jp/sosiki/k-nature/>

Yahoo Japan の検索で「きしわだ」と入力し、検索すれば、簡単です)